

みんなげんき

平成25年3月18日
澁川小学校ほけんしつ

2年 赤ちゃんはどこから



学習内容



① 胎児は最初、針の穴ぐらいの大きさで、とても小さいが、母親が気をつけるだけでなく、家族にも助けられて約10ヶ月間お母さんの子宮の中で大切にされ育ってきた。

② 家族が見守る中、母親の命がけのお産で無事に元気に生まれ、みんなが喜びに包まれた。

③ 生まれた後は、ミルクや、だっこ、おむつ等色々なお世話をしてもらい、元気に大きくなった。自分の命のはじまりと、家族から大切に育てられてきたことを理解し、命の大切さを学習しました。

みんなのかんそう

「生きていられるのがとてもうれしいです」

おなかの中にいるときは、いきをしなくて、出てきたらいきをするのが分かりました。お母さんがごはんを食べると、そのえいようが赤ちゃんに行くのを初めて知りました。お母さんがぼくたちを生んでくれたから、今、生きていられるのがとてもうれしいです。■■■■

「生まれてよかったです」

お父さんとお母さんがすごくくろうしてがんばって、たいへんで、すごく一人一人のためにどれだけがんばったか分かった。生まれてくる前は、すごく小さくて、目に見えないぐらい小さくて、でも、今は、すごく大きく、元気でいられるのがとてもいいことで、生きているというのがとてもいいことが分かりました。生まれてきてよかったです。■■■■

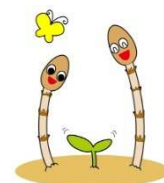


「かぞくで赤ちゃんのいのちを守っていた」

赤ちゃんはこうやって生まれてきたと思った。お母さんはすごくたいへんだったことがわかった。へそのおは、お母さんのえいようを送っていたんだ。お母さんがいなかったら生まれてこられなかった。かぞくで、赤ちゃんのいのちを守っていたんだ。■■■■

「生まれてよかったです」

赤ちゃんは、そんなに小さかったということが分かりました。さいしょは小さかったのに、どんどん大きくなっていくと思いました。赤ちゃんをだいたら思ったより重いからびっくりしました。生まれてよかったです。 [REDACTED]



「うれしかった」

赤ちゃんは、小さかったのに、すごく大きくなったのがわかった。泣き声がかっこよかった。よう水がどうしてこんなにすごい水なのかが知りたくなった。お母さん、お父さんがたいせつにそだててくれてうれしかった。 [REDACTED]



「元気にそだってよかった」

赤ちゃんはかるいと思ったけど、いがいに重かったです。自分が生まれてきてよかったです。はりであなをあけたぐらいの大きさから大きくなりました。元気にそだってよかったです。 [REDACTED]



うんでくれてうれしかった

ぼくは、はりのあなぐらいの大きさだったなんて知りませんでした。大きくなり、今では何でも自分でできるようになりました。お母さんがぼくをうんでくれなかったらたのしいこともできませんでした。生んでくれてうれしかったです。 [REDACTED]

「ありがとう」

しきゅうは赤ちゃんをそだてるふくろで、へそのおからえいようをもらうと思いました。ありがとうございました。 [REDACTED]



「ありがとう」

赤ちゃんに一日中ミルクをあげたり、おむつをかえたり、それが夜中までつづくななんて知りませんでした。わたしは、「生まれてきてよかった」と思いました。わたしをだいに育ててくれてありがとうございました。 [REDACTED]

「命がけで産んでくれてありがとう」

赤ちゃんのさいしょの大きさは、1mmもないなんて、はじめて知りました。いのちがけで生んでくれてありがとう。今では、こんなに大きくなりま



「いっぱいいろいろなことをしてくれてありがとう」

お母さんは、わたしがおなかの中にいるとき、つらかったでしょ。だけどがんばってわたしをおなかから出してくれてありがとう。

おさんぽ、だっこ、おんぶ、ミルク、おむつ、うんどうとかいっぱいいろいろなことをしてくれてありがとう。 [REDACTED]

